

備前市事務事業評価シート

(平成22年度事業)

事業の概要			
事業開始年度	平成元年		
総合計画	大項目	基本目標	05 住民主体の協働のまちづくり
	中項目	基本施策	02 ふれあい豊かなまちづくり
	小項目	施策	01 地域間・国際交流
事務事業名	02	国際交流ヴィラ管理事業	
根拠法令・例規等	八塔寺国際交流ヴィラ設置条例		
問	担当課(室)	まちづくり推進課	
合	職・氏名	協働推進係長 竹林 幸作	
先	電話	0869-64-1806	
このシート作成に要した時間			2.0 時間

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	外国人利用者及び外国人と交流する日本人
目的(何のために)	外国人等に日本の文化に直接ふれる機会を提供することで、日本の良さ、備前市の良さを肌で感じてもらい、国際相互理解を推進する。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	国内外の人々に備前市の魅力を伝え、国内外の人々と市民との交流促進する。

Plan

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業の実績			
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	国際交流ヴィラ管理運営事業	吉永・八塔寺ふるさと村に設置されている国際交流ヴィラの管理運営。 4部屋、13人収容	

Do

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の成果						
成果指標名	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度目標値	
		目標値(A)	850	850	850	850
		実績値(B)	982	1,028	618	到達目標値
達成率(B/A)		115.53%	120.94%	72.71%	850	

成果指標設定の考え方・式や説明

ヴィラ利用者数の確保により施設の安定した運営を図る。

事務事業の評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い	妥当性評価 <A~E>
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input checked="" type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	C
	市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 <A~E> C
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 <A~E> B

事業の目的やその数値目標がある成果指標を評価

進行年度(H23年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	平成21年度からは市の施設として市単独の運営となっていることから採算性を改善するため利用料金を見直している。円高・東日本大震災など厳しい環境の中であるが、引き続き利用者数の確保により経営の安定を図る。					

事業費等		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績
決算額	直接事業費		3,241	3,121	2,070
	必要人員(人件費)	千円	0.13人	0.11人	0.09人
	事業費計		4,066	3,991	2,770
	国県支出金		482		
	受益者負担		2,595	3,591	2,244
	繰入金	千円			
その他(一般財源)		989	400	526	
受益者負担比率	%	63.8%	90.0%	81.0%	
結果指標名		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績
結果指標	ヴィラ利用者数	説明	国際交流ヴィラの利用者数。		
	結果指標量	人	982	1,028	618
	対前年比	%	-	104.7%	60.1%
	活動コスト	円	4,066,000	3,991,000	2,770,000
単位当たりコスト		4,141	3,882	4,482	

総合評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い	評価区分 <A~E>	A 妥当性 B 有効性 C 効率性
外国から訪れる方からの評価も高く、地域での国際交流や備前市の魅力を伝えるうえで重要な施設であると同時に吉永地区における貴重な観光資源である。			C	

平成24年度の方向性・取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標	宿泊者数の増加による経営改善をすすめるとともに、施設の老朽化に伴う整備方針についても近隣の類似施設も含めて総合的に検討していく。					

Action